

2020 年度の実業報告書
2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人おおいた有機農業研究会

1 事業の成果

有機 JAS の認証事業においては、豊後高田市の若手有機農家を対象とした有機 JAS 説明会、臼杵市のほんまもん農産物認証取得農家に向けた有機 JAS 講習会、さらには佐伯市における有機農業セミナー等により幅広く活動を行い、4 件の新規事業者を認証できました。

また、昨年度より大分県から委託された「有機野菜広域出荷体制づくり支援事業」においては、ほぼ毎月検討会議を開催し、さらには先進地事例調査、市場ニーズ調査等精力的に活動するなど、大分県の有機野菜の共同出荷に向けての体制づくりに一定の成果を上げることができました。

同じく、2018 年度より大分県から委託されている「安心いちばんおおいた産農産物認証制度」及び「大分県版 GAP 認証制度」においても、大分県における安心・安全な農業の発展に寄与できたものと考えています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
有機農業及び食生活の安全に関する調査・研究普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・有機農業に関する講座や研修会の開催 ・「おんせん県おおいた就農応援フェア」への参加 ・有機農業技術の研究 ・広報誌の発行・配布 ・ホームページのリニューアル 	(A) 通年 (B) 大分県他 (C) 15 人	(D) 有機農業に関心のある県民 (E) 8,000 人	1,127
	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県「有機野菜広域出荷体制支援事業」 有機 JAS 認証事業者（農産物）の生産から販売に至る組織的な取り組みを行う 	(A) 通年 (B) 大分県内 (C) 21 人	(D) 大分県内の有機 JAS 認証事業者 (E) 34 件	990
有機農産物等の認証に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・有機 JAS 農産物認証事業 有機 JAS 法に基づき、農産物や加工食品を認証する事業活動 	(A) 通年 (B) 大分県他 (C) 15 人	(D) 有機農産物認証取得を希望する農家などの事業者 (E) 68 件	4,680
	<ul style="list-style-type: none"> ・安心いちばんおおいた産農産物認証事業 大分県の農産物認証制度に基づき、減農薬・減化学肥料の農産物を認証する事業活動 	(A) 通年 (B) 大分県内 (C) 6 人	(D) 安心いちばんおおいた産農産物認証取得・大分県版 GAP 認証を希	555

	・大分県版 GAP 認証制度 2 年後の JGAP への取組拡大の 為のステップアップ用として 認証する事業活動		望する農家な どの事業者 (E)5 件	
--	---	--	---------------------------	--

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の金 額 (単位: 千 円)
無し			

(備考)

- 1 2 は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。

第一号議案

2020年度活動報告

2020年度は、昨年度に引き続き、有機JAS認証事業者の一層の拡大、並びに新規就農者の確保育成に取り組むよう計画しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の施策によりかなり制約を受けた結果となりました。

“不要不急”という観点から、計画していました事業の内、新規就農者を対象とした「有機農業養成講座」の開催は見合わせることにいたしました。

一方、有機JAS認証事業者の拡大への取組みにつきましては、豊後高田市の若手有機農家を対象とした有機JAS説明会、臼杵市のほんまもん農産物認証取得農家に向けた有機JAS講習会、さらには佐伯市における有機農業セミナーと幅広く県内に向けて活動を進めてきました。

また、昨年度より大分県から受託の「有機野菜広域出荷体制づくり支援事業」にあっては、設立総会后、ほぼ毎月検討会議を開催し、さらには先進地事例調査、市場ニーズ調査等について精力的に活動するなど、大分県の有機野菜の共同出荷に向けての体制づくりに一定の成果を上げることができました。

2018年度より大分県から受託の「安心いちばんおおいた産農産物認証制度」及び「大分県版GAP認証制度」についても、検査員の皆様のご協力によりその検査業務を適正に遂行でき、大分県における安心・安全な農業の発展に寄与できたものと考えています。なお、本制度は昨年度で制度自体が終了し、今後の継続はないことを申し添えます。

さらに昨年6月より農林水産省の高収益作物次期作支援交付金事業に取り組み、運用を図ってきました。本事業はコロナウイルスによる影響を受けた農家を支援する制度で当初22件、最終的には13件の農家が対象となりました。事務局としては臨時に専任の事務職員を雇用し、3月末をもって事業を完了しました。事業費総額は約2,700万円となり、コロナ禍による収益の減少の影響を受けた農家を十分に支援できたものと考えます。

なお、本事業は研究会事業とは別会計にて運用し、研究会事業との関連性はありません。通信費、消耗品費、コピー機使用料等の応分を本事業費から研究会へ支払うことで会計処理を行っています。

1. 有機 JAS 認証事業

今年度は、理事会において、認証事業者の確保を最重点に取り組むことを確認して新規認証事業者の拡大に向けて活動を行ってきました。その結果、4 件の新規事業者の確保ができました。しかしながら一方では事業者の高齢化、廃業等で認証を廃止する事業者もあり、総数では 1 件の増加に留まりました。実績は以下のとおりです。

(1) 2020 年度末の認証事業者数

有機農産物	54 事業者
有機加工食品	23 事業者
小分け	9 事業者
合計	86 事業者 (実数 68)

(2) 2020 年度新規事業者

有機農産物	3 事業者
有機加工食品	1 事業者
小分け	0 事業者
合計	4 事業者

(3) 2020 年度廃業事業者

有機農産物	2 事業者
有機加工食品	1 事業者
小分け	0 事業者
合計	3 事業者

2. その他の検査業務 (大分県委託事業等)

(1) 安心いちばんおおいた産農産物認証制度 2 件

古梶 大和 (中津市、ヒノヒカリ)
安達 一男 (大分市、イチゴ)

(2) 大分県版 GAP 認証制度 (2018 年度から実施) 3 件

農事組合法人城村 (佐伯市、米・麦)
農事組合法人王冠 (佐伯市、米・麦・大豆)
アローファーム大分株式会社 (佐伯市、米・麦)

3. 大分県委託業務 ～「有機野菜広域出荷体制づくり支援事業」

(1) おおいた有機野菜等生産出荷体制構築会議設立総会の開催

2020年5月23日に設立総会を開催し、実質的な大分県の有機野菜の広域出荷体制づくりに向けた事業をスタートしました。

(2) 主な活動内容

赤嶺委員長の下、各委員、顧問にて販路検討委員会、栽培技術検討会、経営検討会など、各種検討会議をほぼ月に一度の割合で開催しました。また、先進事例研修として有志により熊本県上益城郡山都町の「株式会社肥後やまと」を訪問し、先進事例の調査・研究を行いました。さらに市場ニーズの調査を適時行いました。

4. 有機JAS講習会の開催

①6月16日：有機JAS臨時講習会（きのこ）

大分県保険医会館3階会議室 受講者2名

②8月11日：有機JAS講習会（農産物、加工品、小分け）

植田公民館2階研修室、視聴覚室 受講者35名

③10月6日：有機JAS臨時講習会（きのこ）

植田公民館2階講義室 受講者14名

④2021年3月31日：有機JAS講習会（農産物、加工品、小分け）植田

公民館2階研修室、視聴覚室 受講者41名

5. 有機JAS認証検査員の育成

検査員の恒常的な人材不足と高齢化等に対応するために、新規の検査員確保・育成に組んできました。その結果、有機加工食品の検査員1名の増員をみることができました。現在、さらに3名の有機加工食品の検査員を育成中です。また、検査員の研修につきましては、7月7日、11月18日、2021年3月16日と3回に渡り開催し、検査員間の共通認識、JAS法等の習熟度を図ってきました。

6. 広報

広報誌「食と農おおいた」を2回発行、研究会の取り組み状況等を掲載して、研究会会員並びに関係機関へ配布しました。

2021年1月1日、ホームページを全面リニューアルしました。掲載内容の充実を図り、訪問者に分かりやすいページ構成としました。また、有機JAS関連の各種様式をダウンロードができるように改善し、認証事業者の利便性にも配慮した内容としました。さらに、農林水産省、大分県等関連官庁ともリンクし、情報の共有が可能な状態としました。

7. 高収益作物次期作支援交付金事業

本事業は新型コロナウイルスの影響による需要の減少により市場価格が低落するなどの影響を受けた野菜・花き・果樹・茶等の高収益作物について、次期作に前向きに取り組む生産者を支援し、国内外の新たな需要促進につなげようとする農林水産省の支援事業です。全国的に本事業が展開される中、当研究会はその事業実施主体として、県内の有機JAS認証事業者を対象に取り組んできました。主な事業経過は以下の通りです。

6月8日 高収益作物次期作支援交付金事業説明会出席

7月22日 事業実施計画承認（九州農政局）

8月4日 割当内示（九州農政局）

12月21日 事業実施計画書申請

2021年

2月3日 事業実施計画承認（九州農政局）

2月13日～3月5日 実施計画についての現地確認検査実施

3月4日 交付金決定通知（九州農政局）

3月22日 認証事業者交付金支払い

3月31日 事業完了

8. その他

①新規就農者の就農促進

「おんせん県おおいた就農応援フェア」が8月16日、大分市コンパルホールで開催され、参加しました。有機農業就農希望相談者8名、年齢層は20～50代で、特に有機農業に関心のある相談者は2名でした。

相談対応者 有光理事長、河野事務局長

②オーガニックフェスタ

コロナウィルス感染拡大防止に配慮し、今期の開催は見合わせました。年度初めから「フェスタ進め方会議」と称して有志で構成する小委員会を立ち上げ、今後のフェスタの在り方について検討を重ねてきました。地域別に小規模で開催するなど、生産者と消費者の距離が縮まるような親しみやすい開催方法などを模索してきました。

③会員数の状況

2021年3月31日現在の会員の状況は以下の通りです。

個人会員 55人

団体会員 15人

合計 70人

昨年度の研究会会員数は37人でした。一昨年度末で解散したおおいた有機農業推進ネットワークから研究会へ移行して頂いた会員もあつたことより大幅に増員となりました。

活 動 計 算 書

(単位：円)

おおいた有機農業研究会

自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
おおいた有研会費	298,000		
【受取寄付金】			
受取寄付金	33,440		
【受取助成金等】			
受取負担金	79,500		
県GAP/安心いちばん委託金	555,500		
有機野菜広域出荷体制	990,000		
【事業収益】			
JAS事業 収益	7,690,148		
ほんまもん認証収益	70,000		
【その他収益】			
受取 利息	18		
雑 収 益	7,490		
経常収益 計	9,724,096		9,724,096
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料 手当(事業)	3,885,444		
臨時雇賃金	2,446,314		
通 勤 費(事業)	73,992		
法定福利費(事業)	43,591		
人件費計	6,449,341		
(その他経費)			
諸 謝 金	80,000		
印刷製本費(事業)	84,090		
会 議 費(事業)	282,600		
旅費交通費(事業)	263,710		
通信運搬費(事業)	42,972		
消耗品 費(事業)	42,981		
賃 借 料(事業)	38,050		
諸 会 費(事業)	41,500		
租税 公課(事業)	1,600		
支払手数料(事業)	24,200		
支払 利息(事業)	165		
雑 費(事業)	1,573		
その他経費計	903,441		
事業費 計	903,441		7,352,782
【管理費】			
(人件費)			
給料 手当	240,000		
通 勤 費	58,098		
人件費計	298,098		
(その他経費)			
会 議 費	161,000		
旅費交通費	18,470		
通信運搬費	260,498		
消耗品 費	70,340		
水道光熱費	57,799		
地代 家賃	449,410		
賃 借 料	55,140		
広告宣伝費	43,120		
新聞図書費	3,520		
諸 会 費	20,000		
リース 料	315,115		
支払手数料	2,915		
雑損	15,265		
その他経費計	1,472,592		
管理費 計	1,472,592		1,770,690
経常費用 計	9,123,472		9,123,472
当期経常増減額			600,624
【経常外収益】			
経常外収益 計			0
【経常外費用】			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額			600,624
経理区分振替額			0
当期正味財産増減額			600,624
前期繰越正味財産額			7,146,021
次期繰越正味財産額			7,746,645

2020年度 会計報告
貸借対照表

おおいた有機農業研究会
全事業所

(単位：円)

2021年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	666,152
現 金	317,817	預 り 金	19,740
普通預金	2,489,826	流動負債 計	685,892
郵便振替	4,448,979	負債の部合計	685,892
現金・預金 計	7,256,622	正 味 財 産 の 部	
(売上債権)		【正味財産】	
未 収 金	1,081,415	前期繰越正味財産額	7,146,021
売上債権 計	1,081,415	当期正味財産増減額	600,624
流動資産合計	8,338,037	正味財産 計	7,746,645
【固定資産】		正味財産の部合計	7,746,645
(投資その他の資産)			
敷 金	94,500		
投資その他の資産 計	94,500		
固定資産合計	94,500		
資産の部合計	8,432,537	負債・正味財産の部合計	8,432,537

未収金明細		未払金明細	
	金額		金額
有機JAS検査料	84,415	事務局長/事務局員3月分給料・通勤費	419,519
有機野菜広域出荷体制づくり支援事業委託金	990,000	事務局員健康保険料/厚生年金保険料会社負担分	24,896
外国向検査証明書発行手数料	6,000	検査員3月分検査料	176,497
有料認証書発行手数料	1,000	検査員JAS講習会講師料・交通費	21,240
		検査員研修会会議費	24,000
合計	1,081,415	合計	666,152

財 産 目 録

おおいた有機農業研究会
全事業所

(単位：円)
2021年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金		317,817
現金 (一般管理)		(285,935)
現金 (有機野菜広域事業)		(31,882)
普通預金		2,489,826
大分銀行 6 引当金		(1,000,003)
大分銀行 1 管理・有機JAS		(502,365)
大分銀行 2 県GAP・安心いちば		(555,500)
九州ろうきん		(431,958)
郵便振替		4,448,979
有研郵便振替		(4,448,979)
現金・預金 計		7,256,622

(売上債権)

未 収 金		1,081,415
売上債権 計		1,081,415

流動資産合計

8,338,037

【固定資産】

(投資その他の資産)

敷 金		94,500
投資その他の資産 計		94,500

固定資産合計

94,500

資産の部 合計

8,432,537

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金		666,152
預 り 金		19,740
流動負債 計		685,892

負債の部 合計

685,892

正味財産

7,746,645